



# 布ボランティア 活動報告



布ボランティアは毎月2回、定期開催しています。  
 この活動は、子どもたちとの直接的な関りは少ないですが、  
 ボランティアさんの手作りの品は、とても愛にあふれ、  
 通園する子どもたちのやる気をサポートしてくれています。  
 今月は、そんな手作りの品が  
 どのように使われているかをご紹介します、  
 活動の報告とさせていただきますと思います。



## ① のびのび園の当番活動

登園して・・・  
 朝の準備や身支度を整えます。  
 準備が出来たら、  
 自由遊びで思いっきり遊び、  
 その後各クラスで  
 おあつまりが始まります。

## ② 当番の子供たちは・・・

おあつまりで・・・  
 当番の子どもがお友だちの  
 名前呼びをしてくれます。  
 「〇〇マークのお友だち、  
 △△ちゃん(□□くん)」  
 この掛け声に合わせて、  
 「はい」と返事が返ってきます。



## ③ これまでの当番活動では・・・

壁に掲示されているイラストと写真を使って、  
 当番活動を促すことが多くありました。

つまり、子どもたちは

1. 壁の掲示物に注目する
2. 掲示物の内容を理解する
3. 理解した内容を覚え実行する

というタスクをこなす必要があったのです。

視覚的に支援が必要な子のために、掲示物も  
 多くあります。子どもによっては、注目することが  
 苦手な場合もありますが、当番バッチの登場で  
 注目する距離が短くなり、より何をするべきか  
 分かりやすくなりました。

## ④ 当番バッチをつけることで・・・

当番の子はマークを頼りに役割を認識し、また、他の  
 子は当番の子に注目しやすくなりました。



## ⑤ 子どもたちの特性に合わせた支援を考え、形にするときに、布ボランティアさんの存在は、とてもありがたいのです。



布ボラさんは、こうして  
 子供たちのやる気をサポートしてくれるのでした(完)

